

めざす生徒像	地域を支え未来を拓く生徒	学校教育目標	1 校訓「開拓者精神」に基づき、自分の夢や志の実現のために、不断の挑戦や努力を尊重する人材を育成する。 2 キャリア教育や産業教育をおし専門性を高めるとともに、社会的自立を図り、地域社会を支え、貢献できる人材を育成する。 3 知・徳・体の総合的な向上を図り、コミュニケーション能力を高め、自ら考え、適切に判断し、主体的に行動することにより、地域の未来を切り開いていく人材を育成する。
		いじめ対応チーム	教頭、生徒指導部、教務部、科長、担任・学年主任、養護教諭、キャンパスカウンセラー（状況に応じて関係職員等も含む）

《年間指導計画》

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ対応チーム ・指導方針の確認 ・年間計画の作成(含む1学期) ・いじめ未然防止プログラムの実施 職員会議	入学前の中学校との情報交換 (新入生オリエンテーション) 学級運営に活用・活動計画に反映	個人面談(状況把握)
5月	事業発生時・緊急対応会議の適時開催 通年 保護者向け啓発活動 PTA総会、保護者会	人間関係づくり・学級・学年づくり	家庭訪問 随時・通年
6月		(体育大会)	いじめのアンケート①
7月			生活実態調査
8月		職員研修会	三者面談・個別面談
9月		人間関係づくり・学級・学年づくり	
10月	いじめ対応チーム ・情報共有 ・2学期計画作成 ・いじめ未然防止プログラムの実施② 職員会	人権教育研修会	
11月		(桃陵祭・文化祭) (インターンシップ・2年)	いじめのアンケート②
12月		(球技大会) (芸術鑑賞会)	
1月	いじめ対応チーム ・情報共有 ・3学期計画作成 ・いじめ未然防止プログラムの実施③ 職員会	情報モラル研修	いじめのアンケート③
2月		(マラソン大会) (修学旅行・2年)	
3月	いじめ対応チーム ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針修正 ・次年度の指導計画修正	次年度のクラス作り (球技大会)	

いじめ対応チーム会議

いじめ対応チームは、生徒の情報交換や状況確認に関する会議を学期に1回以上行うとともに、月例の生徒指導委員会にて各学年の状況を共有する。

未然防止に向けた取り組み

- 生徒集会やホームルームなどで啓発活動を行い、いじめを許さない学校作りを進める。
- 年間を通じて、登校時に最寄り駅や生徒昇降口で職員による声かけ指導を行い、生徒の変化に気を配る。
- 昼休み時には、校内巡視を実施し、生徒指導上の盲点をなくす。
- 中学校との情報交換を行い、連携を密にする。
- 保護者に対し学年通信やHPにより啓発活動を行い連携を強化する。
- 生活実態調査を実施し、生徒の生活、行動等を把握する。
- ボランティア活動を通して、自助・共助の精神を身に付けさせる。
- ほめる指導や、特に頑張った生徒には「氷山高バッチ」を付与し自己有用感を高める。

早期発見に向けた取り組み

- 学期に1回はいじめのアンケートを行い、いじめの早期発見に努める。
- いじめと思われる事象を見たり聞いたりした時は、些細なことでも「いじめ? 気づきカード」を生徒指導に提出し早期発見に努める。
- いじめが発生した場合は、即座に「いじめ対応シート」を活用し、被害生徒、加害者およびその関係者に聞き取りを行い早期解決に努める。